●特集２．2022 年６月 22 日　アフガニスタン南東部の地震

（１）概要及び最近の地震活動 (注１)

2022 年６月 22 日 05 時 54 分（日本時間、以下同じ）にアフガニスタン南東部の深さ 10km で Mw6.2 の地震（Mw は Global CMT によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は、発震機構（Global CMT による）が北北西−南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震の発生以降、同日 06 時 50 分に M4.5、６月 24 日 10 時 43 分に M4.3 の地震が発生したほかは、M4.0 以上の地震は発生していない（図１－１、図１－３、2022 年７月６日現在）。

今回の地震により、アフガニスタンで死者 1,036 人、負傷者 2,949 人などの被害が生じた。

今回の地震の震央周辺は、北側にあるユーラシアプレートに対して、南側にあるインド・オーストラリアプレートが北北東方向に移動して衝突する地域であり、地震活動が活発な地域である。

1980 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（図１－１の領域ａ）では M6.0 以上の地震が時々発生しており、2005 年 10 月８日には Mw7.6 の地震が発生し、死者 86,000 人以上などの被害が生じた。M6.0 以上の地震が発生したのは、2008 年 10 月 29 日に発生した M6.6 の地震以来である（図１－２）。

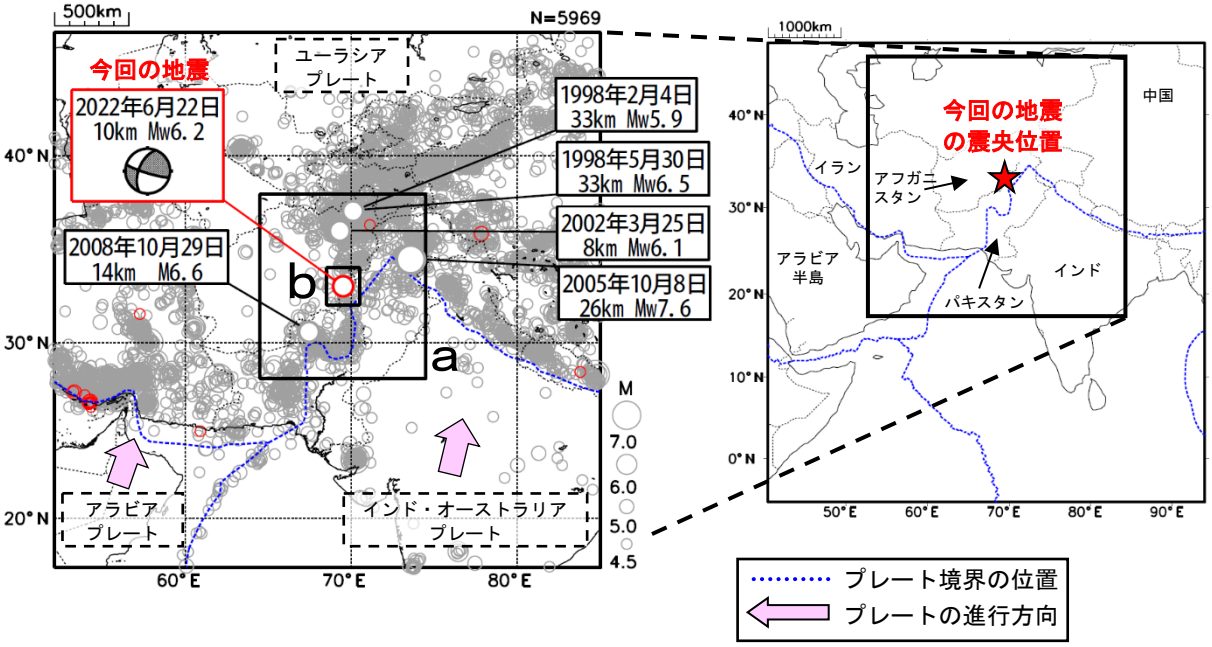

図１－１　震央分布図（1980 年１月１日～2022 年６月 30 日、深さ０～100km、M≧4.5）
2022 年６月の地震を赤く表示。吹き出しは被害が死者 1,000 人以上の地震及び直近の M6.0 以上の地震である 2008 年 10 月 29 日の M6.6 の地震。

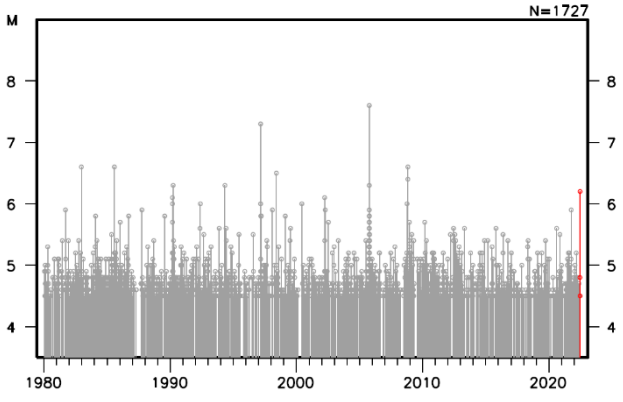

図１－２　図１－１の領域ａ内のＭ－Ｔ図

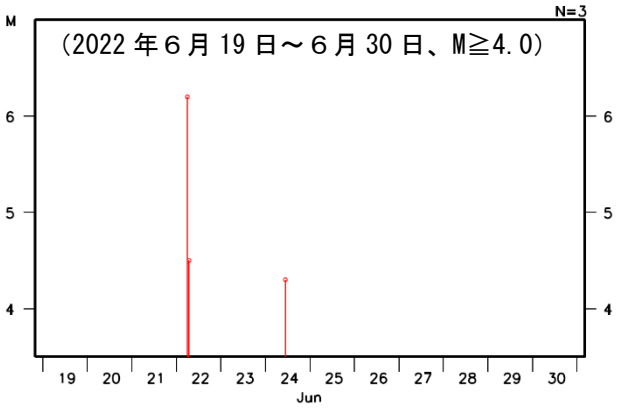

図１－３　図１－１の領域ｂ内のＭ－Ｔ図

(注１) 震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022 年７月６日現在）。ただし、発震機構と Mw は Global CMT による。プレート境界の位置と進行方向は Bird（2003）*より引用。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2022 年７月３日現在）、2005 年 10 月８日の地震の被害は理科年表、その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

*参考文献　Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.